



# 新たな公害

## 「香害」\*の対策を！

大ブームの香り付き製品で健康被害に苦しむ人が急増中  
誰もが被害者、そして加害者になる可能性あり

2008年に大手3社が香りつき柔軟剤を発売し、12年には香りをつけることだけを目的にした、香りつけ専用商品が発売されました。

香りが強く、より長く香る商品が人気となり16年の柔軟剤の販売額は1000億円を超えています(経済産業省生産動態統計年報)。それに比例して、全国消費者情報ネットワークに寄せられた、柔軟剤に関する相談件数は年々増加しています。

「香害」の症状は、頭痛、めまい、吐き気や、アレルギー症状など、そして最も深刻なものが化学物質過敏症です。個人の許容量を超える化学物質の曝露を受けると、それ以降、ほんのわずかの化学物質にも反応

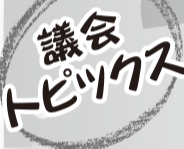


### 今年度の待機児童数、速報値で129人

3月末までに126人の受け入れを拡大したものの、需要の高まりに保育所設置が追い付かず。今年度中に認可2園、小規模1園新設で約170人受け入れ増の予定だが、幼保無償化が実現すればさらなるニーズ増は必至だ。

### PM2.5 高濃度汚染が市内に発生?! 対策を求める陳情は否決

今年4月、高濃度のPM2.5が市内で計測された。市民からの指摘で、市が事実を把握したのは約3週間後。モニタリングを怠った上、「都から連絡がなかった」とした市をネットは厳しく追及。だが自民、公明、立憲の反対で陳情は不採択に。



EUでは、26種の香料をアレルギー物質として表示する義務があります。日本では表示が義務付けられていませんが、私たち消費者も、店頭に並んでいるから安全だと思いつもではなく、原料が何かを考慮する必要があります。

\*「香害」とは……柔軟剤、消臭除菌スプレー、制汗剤、芳香剤、合成洗剤などの強い香りを伴う製品による健康被害のこと。体臭は含まれない。

## 協働型の補助金を見直して、コミュニティをもっと元気に！

「コミュニティ・レストラン木々」で始まった「ケアラースカフェ(介護者を支援する集いの場)」が、わずか2年間で市内3か所に増えました。また、田無第一中学校で始まった「放課後カフェ」が、「中いいねー」「うちでもやりたい」と大きな反響を呼び、市内6つの中学校へ広がっています。西東京市民の行動力とエネルギーに脱帽！です。

共感を広げること仲間づくりは、市民の得意分野。感度の高い

## 子ども条例、いよいよ制定へ！

9月議会に、「子ども条例」が上程されます。生活者ネットが長年求め続けてきた子どもの権利条例が、とうとう西東京市で制定されると思つと、感慨深いです。今も、子どもの虐待に関する痛ましいニュースが後を絶ちません。虐待、貧困、体罰、いじめ――これらはすべて、子どもの「生



反核平和の火りレーに参加(かとう)

きる権利「学ぶ権利」「育つ権利」を脅かす行為です。子ども条例は、困難な状況にある子どもたちをま

不登校の子どもたちに対し、「学ぶ権利をどう保障していくか」が、条例制定後の私の大きな課題となります。むしろ、制定してからどう使いこなすが極めて重要な子ども条例。皆さんもぜひご注目ください！



環境にも体にもやさしい石けん利用を、市長にPR。せっけん運動ネットワークの「シャボン玉月間」にメッセージをいただきました